

2020.05.22

【国際】欧州で採用や導入検討増えるアップル・グーグルの接触追跡技術

欧州では、新型コロナウイルス感染者の接触相手を追跡するスマートフォン・アプリの開発が進められているが、ドイツ、イタリア、オランダなどは、アップルとグーグルが共同開発するアプリの採用を決定または検討している。米国では、州や地方自治体が接触追跡アプリ開発を主導しているが、欧州では、大手テクノロジー企業のプライバシー侵害に警鐘を鳴らしてきた各国のプライバシー規制当局者が、アップル・グーグルの技術の採用を積極的に推進している。両社システムがデータを集中管理せず、データのほとんどをユーザの端末で保管する仕様となっていることを評価している。両社に厳しい対応を取ってきたマルグレーテ・ベステア欧州委員も、両社の接触追跡技術を支持する1人で、欧米間で相互運用可能な枠組みの確立も推進している。ただ、英国、ノルウェー、フランスは、政府がデータを集中管理できるシステムの方が望ましいとしている。